

KUSHIMOTO ロケットルポ Test Cruise



実施されたテストクルーズ。船首でガイドするのは、南紀串本観光協会のガイド部長を務める神保圭志（じんぼけいし）さん。ジオガイドであり、ロケットガイドでもある。

漁船からロケット発射を見学！ 串本でテストクルーズ開催。

南紀串本観光協会ではロケットの発射を前に、新しい観光コンテンツの開発実験として、9月24日に漁船によるテストクルーズを実施した。コースは1.5時間程度。串本港の棧橋から出発し、橋杭岩や九龍島の間近を抜ける。そしてロケットの発射が海から眺められるエリアまで行き、大島にある金山展望台やくしもと大橋を巡る。串本の重要な産業である漁業への興味を



テストクルーズ船の行先がちょうどロケット発射地点。今回案内してくれたのは、地元水産養殖業者・岩谷水産の漁船。

持つてもらうため、串本と大島の間にある養殖生簀にも立ち寄り、養殖現場の見学や餌やり体験も実施できないか検討している。「これから何度もテストを実施して、コースの詳細を決めていきたいと思っています。実際にロケットの発射を海から見るといのは、発射の延期などがたびたび起こる事から考えると難しいとは思いますが、その臨場感を味わってもらいたいと考えています」と語るのは、南紀串本観光協会事務局長の宇井晋介さん。

また串本周辺は、南紀熊野ジオパークのエリアであり、橋杭岩の成り立ちや伝説など、興味深いポイントが点在している。実際に実施されるクルーズでは、地元のガイドや漁師さんが同乗し、説明をしてくれるので、ロケットだけではなく串本の魅力を存分に味わってもらえる。（問い合わせ／南紀串本観光協会／電話0735623171）

串本から打ち上げられる
小型ロケットの機体名称が
カイロスと決定！
(KAIROS)

カイロス (KAIROS= **K**ii-based **A**dvanced & **I**nstant **R**Ocket **S**ystem)という機体名には、『時間を味方につけて市場を制する』という強い意思を示し、ギリシア神話に登場する時間神カイロスの神名から命名したという。また、カイロスには、ギリシア語でチャンス（好機）という意味も含まれており、変化の激しい市場環境に即時に対応し、自ら好機を掴みとり、宇宙輸送サービス事業を成功に導くという意志も込められている。

提供：スペースワン株式会社



まるごとロケット

ロケット発射場建設を機に、名物を作ろうと、羊羹専門店紅葉屋本舗の坂井良雄（さかいよしお）さんが发起人となり、地元の飲食店10店が力を結集し“まるごとロケット”を開発。串本の特産品である干物をはじめ、カレーやぜんざいなど、長期保存が可能なレトルトパウチの商品10点がロケット型のケースの中に。クラウドファンディングでの支援も成功し、新しいお土産物として人気を集めること間違いなし。

串本町ロケット観光組合（有限会社紅葉屋本舗）
住所／東牟婁郡串本町潮岬470 電話／0735-62-3960
<https://www.kushimoto-rocket.com/>

〔参加企業〕うすかわ饅頭 儀平・M's cafe & dining・おぎのひもの・串本海中公園センター・串本旬彩 おおはし・四季彩園・タイヨウのカフェ・松すし・紅葉屋本舗・レストラン空海



ロケットの町・串本で 宇宙を丸ごと食べ尽くす

串シーフードロケットフライカレー

串本町で人気の洋食店「サンドリア」が、試行錯誤しながらおよそ3年かけて開発。ロケットが飛ぶ「フライ」と、揚げ物の「フライ」を掛け、多彩な海の幸のフライを「串」にさしてロケットに見立てている。今にも空へ飛び出していきそうなダイナミックなメニューで、「ロケットを見に来た方に、串本ならではのグルメを食べて喜んでほしい」という思いが込められている。

サンドリア
住所／東牟婁郡串本町串本2505
電話／0735-62-5667

ロケットサイダー

日本初の民間ロケット発射場がある串本町を多くの方に知ってもらいたいという思いで誕生した「ご当地サイダー」。ラベルには大漁旗とロケットがちょっとレトロな雰囲気でも描かれており、思わず「バケ買い」したくなるようなかわいさ。シュワとしたサイダーの発泡感がロケットのイメージにぴったりで、地元の特産物、ポンカンをイメージした味に仕上がっている。

南紀串本観光協会
住所／東牟婁郡串本町串本33 電話／0735-62-3171

